

第10回米原市定例教育委員会

日 時：平成30年10月23日

午後3時30分開会

場 所：山東庁舎2階 2AB会議室

(出席者)

教 育 長：山本教育長

教 育 委 員：中川委員、本庄委員、膽吹委員、法戸委員

教 育 部 長：上村部長

教 育 総 務 課：澤田課長補佐

学 校 教 育 課：一ノ宮課長

生 涯 学 習 課：梶田課長補佐

歴史文化財保護課：桂田課長

学 校 給 食 課：大澤課長

図 書 館：今川館長

こども未来部長：田中部長

保 育 幼 稚 園 課：奥村次長、中川課長補佐

書 記：澤

(欠席者)

教 育 委 員：近藤委員

1 開 会

2 教育長あいさつ

皆さんこんにちは。

大変お忙しい中、定例教育委員会へお集まりいただき、ありがとうございました。9月には、各認定こども園、小中学校で運動会が開催されましたが、雨やグラウンド状態により、予定日どおり実施できた学校園はありませんでした。しかしながら、保護者や地域の皆様方の多くの参加もあり、子どもたちも充実した発表の場になったと思います。

いよいよ運動会が終わり、子どもたちは河南部、山東部の音楽会、また、市民の方については、米原市芸術展覧会美術部門の表彰式が開催されました。今年は、昨年リニューアルした近江にはわ館での実施となり、図書館と併設した雰囲気の中で、また、リニューアルした施設ということで、立ち寄っていただく方が多かったように聞いており、成功裏に終わったと思います。子どもたちの音楽会についてですが、発表を聴きに行かれた方からは、非常に素晴らしかったと聞いております。各校が力を入れて、頑張ってくれていましたし、多数の保護者の方の参観もあったと聞いております。

今夜は、ルッチ大学9期生の入学式を行います。8期生17名の卒業式を9月の終わりに行いましたが、横のつながりや学びの場として、とても素晴らしいものがありました。9期生は20名のエントリーがありましたが、今後は、更に広がることによって地域に根差した生涯学習の場として、今後のまちづくりにつながればと思います。

現在、事務局では来年度予算の積上げを行っています。今後の市の財政運営を考えた時には、全ての部局でのスクラップが必要になります。そのような中で、どれをスクラップし、どれを残すのか、また、どのような施策を講じていくのかについて、市民のニーズにも合わせながら、整理を行っているところです。厳しい現実であり、きめ細かな対応が必要であると思います。

校長の面談も終わり、第2回目の人事訪問を行っています。教育委員の皆様には、県外研修への参加等よろしく申し上げます。

3 会議録承認

平成30年9月定例会議事録 承認

4 所属長報告

(1) 教育総務課長補佐

9月30日には、台風24号に係る警戒体制として、ルッチプラザ、近江はにわ館、坂田小学校、テクノカレッジにおいて自主避難所の対応を行いました。10月4日および10月10日には、給付型奨学金制度について、2件の行政視察の対応を行いました。10月9日には、教育行政事務の点検および評価に関する懇談会を開催しました。教育委員の皆様には、貴重な御意見をいただきありがとうございました。現在報告書の作成を行っており、次回11月の定例教育委員会および12月の市議会にて、御報告させていただく予定です。10月16日には、県都市教育委員会連絡協議会県内研修会および県教育委員会との意見交換会が草津市で開催され、中川委員、膽吹委員に御出席いただきました。大変お疲れさまでした。

今後の予定は、入札および平成31年度の当初予算要求に係る事務を行っていきます。

(2) 学校教育課長

各小中学校の運動会が終わり、特別支援なかよしカーニバル、連合運動会、音楽会を実施しました。10月17日から人事訪問をスタートし、全ての学校を訪問します。

今後の予定は、教育フォーラムがそれぞれの中学校区で開催されますので、御参加いただければと思います。また、11月14日からは市教委訪問も行っていきます。

9月分の事故・問題行動については、いじめが5件、交通事故が1件となっております。1対多数のいじめが出てきたことが、今回の特徴でした。また、坂田小学校に配置されているスクールソーシャルワーカーの方が教師と違った目で、いじめの芽を

見つけていただいたケースもありました。

教育センターでは、幼稚園、認定こども園の若手の先生方の研修を開催し、調査研究部会では、各部会での実証事業およびまとめに向けて取り組んでいただいています。

(3) 生涯学習課長補佐

9月29日には、ルッチまちづくり大学第8期生の最終報告会および卒業式を、10月3日、11日には、まいふあみカフェを開催しました。ルッチまちづくり大学8期生の最終報告会および卒業式については、3年間の学習と研究の成果を報告していただくとともに、卒業を祝い今後の交流を誓う場とすることを目的としております。内容については、第1部として、まちづくり実践研究最終報告会で、2つのグループと1名からの報告をいただき、第2部として卒業式、第3部として交流会を実施しました。今後、自信を持って地域での活動を行っていただくための門出になったと考えております。

次に、まいふあみカフェですが、平成30年度からの新規事業として実施しています。子育てに対する悩みや疑問を子育てする者同士が共有する場を設定し、孤立した子育てではなく、協働することで子育てに幅を広げ、子どもたちを豊かにすることを目的に開催しています。参加者については、未就園児の保護者を対象にしています。内容は、ワークショップとして、子育てに関するテーマに沿って、参加者同士が話し合っていたいただき、悩みを共有し理解した中での学び合える交流の場としています。参加者の方からは、先輩のお母さんからの話も聴け、また、これから出てくる悩みについて、事前に勉強ができて良かった、同じ悩みを持っていることについて、いろいろな話が聴けて良かったという意見をいただいております。

今後の予定は、11月7日に3回目のまいふあみカフェの開催を予定しております。12月1日は、第13回米原市芸術展覧会音楽部門の最終審査発表会と表彰式を行う予定です。

(4) 歴史文化財保護課長

10月4日に米原曳山祭曳山保存修理委員会が開催され、今年度修復をしております、壽山と旭山との現地協議を行いました。壽山と旭山の胴幕の修復を行い、10月4日に完了検査を終えたところです。曳山の幕には3種類あり、子どもたちが楽屋から舞台に出てくる時に通る花道幕、曳山の横の部分に掲げる大きな幕である胴幕、曳山が通った後に曳山を見送るときに見える幕である見送り幕となっています。今年度については、胴幕を修復いたしました。この幕は、200年前オランダで作製されたと言われています。胴幕の修理については、残念ながら、現在この生地と手法は日本にはありません。復元されたような刺繍で、今回修復を行いました。31年度に壽山および旭山について、曳山が出ますので、その時に皆様に御覧いただくことができます。また、

来年度予算が通れば、今度は幕だけでなく、2年間かけて曳山本体の修復を行っていきたいと考えております。今後の予定につきましては、資料のとおりです。

(5) 学校給食課長

2学期のニュージーランド給食について、西部は10月1日、東部は10月9日に実施しました。10月2日から17日には、小学生1年生を対象とした食に関する指導「好き嫌いなくなんでも食べよう」を、10月3日から17日には、小学生5年生を対象とした食に関する指導「魚について知ろう」をそれぞれ実施しました。10月19日には、米原市保育研究協議会の調理師研修が開催されました。

今後の予定ですが、10月25日に臨時調理師の採用試験を実施します。現在東部2人、西部1人の随時募集をしていますが、2人の応募がありました。次に、日は調整中ですが、恒例となりました野菜収穫体験を山東、春照、米原小学校で予定しています。11月上旬からは小学校3年生を対象とした食に関する指導「よくかんで食べよう」がスタートします。

(6) 図書館長

まいばら協働事業の取組として、いきいきおうみでボランティアの方と一緒に高齢者向けのおはなし会を開催しました。また、出前講座として、柏原小へブックトークに出かけました。テーマは「色いろいろ」で読書や本に興味や関心を持っていただけるよう、色に関する様々な本を紹介しました。9月29日から10月5日に山東図書館で蔵書点検を行いました。不明本については、約140冊となっています。現在は、近江図書館で蔵書点検を行っており、不明本については、約90冊と聞いております。両図書館の蔵書点検が終わりましたら、不明本の対応をしていく予定です。10月6日から14日には、近江はにわ館がリニューアルして、初めて市の芸術展覧会が開催されました。今年度の出品数は昨年度とほぼ同数ですが、来館者数が大幅に増えました。来館者からは、見やすくなったという意見を聞いております。なお、市の芸術展覧会ですが、次年度からは春季開催を予定されています。

今後の予定ですが、11月3日から米原市子ども美術展を、11月11日には近江はにわ館で人形劇を開催する予定です。

5 所属長に対する質疑

A委員：今年は、山東部の音楽会に行かせていただき、子どもたちが頑張っている姿を見て感動しました。学年に応じ、身の丈にあった指導がなされており、また、工夫があって大変良かったです。特に中学校のレベルが非常に高いと感じました。表現力があり、しっかり声を出し、みんなが一つになって、チームワークも良く、本気でやっている姿が良かったです。

市の芸術展覧会もコンパクトにまとまり非常に見やすかったです。可能であれば、ルッチプラザ、銀行、各学校などへ巡回した作品展示ができ、市民や子どもたちの目に直接触れられる機会があれば良いと思いました。

事務局：出品者との兼ね合いもありますが、学校やルッチプラザに作品を展示することは可能ですか。

事務局：作品をお借りするというので、事前にお願ひすれば無理ではないと思いますので、検討させていただきます。

A委員：以前は、市の子ども美術展の書道の作品を巡回展示していました。

事務局：来年は春の開催なので、秋に開催の子ども美術展に向けた創作活動を行うに当たり、子どもたちに刺激を与えるには良い機会であると思います。

B委員：芸術展覧会の美術部門を鑑賞させていただきました。静かな雰囲気の中で、展覧会として作品が活かされていたように感じました。来場された方に話を伺いましたが、PRを見て初めて展覧会を見に来たという方がおられました。また、入選された方で会場が大変気に入り、開催期間中何回もお越しになられた方もおられました。近江はにわ館での開催がすごく期待されていると感じました。また、子ども美術展も近江はにわ館で開催されるということで、楽しみにしています。来年からは春季に開催されるということですが、その理由を教えてくださいたいと思います。

事務局：近隣の市町で同じ時期に芸術展覧会が開催されますので、出品者がどうしても競合してしまうところもあります。出品数を多く見込める様な事も考慮して、開催時期を変更して開催する予定をしています。

B委員：開催の案内についても早くされる予定ですか。

事務局：今年度から準備に掛かりたいと思います。

事務局：12月1日に音楽部門の発表会が開催されます。多くの人に来館していただけるように上手にPRをしていくことが大事であると思いますので、よろしくお願ひします。

C委員：初めて音楽会を見に行くことができました。先生の指導も行き届いていて、良い歌

声であり、また、工夫もあり、プログラムにもまとまりがありました。子どもたちも大変元気で、学年の良さを上手に使いながら発表されていて、良い機会をいただきました。子どもたち、先生、保護者が一生懸命で、会場全体が一つになるような心地よい雰囲気でした。

まいふあみカフェの開催は、今年度からですが、出てきた話の内容を教えてくださいませんか。保護者さんの思いを知りたいと思いました。

事務局：まいふあみカフェでは、充実した時間が過ごせたと聞いておりますが、その時の話題になったことがあれば、教えてください。

事務局：先ほど一部御紹介させていただきましたが、まいばら認定こども園の方で開催しましたアンケート集約によりますと、経験されている方、先輩のお母さんの話が聴けたのが良かった、負担を感じている事を話すと共感してくれることが多くて嬉しかった、これから出てくる悩みについて、事前に勉強ができて良かった、同じ悩みを持たれている方も多いのがわかって安心した、いろいろな話が聴けて良かったという意見を聴いています。

A委員：これは生涯学習課の所管事業ですが、保育幼稚園課との連携はできていますか。

事務局：去年までは、家庭教育フォーラムとして、フォーラム形式で開催していましたが、参加者が少なかったので、今回新たな取組で実施させていただきました。認定こども園の先生方には、保護者さんが連れてこられる子どもの保育をしていただくなどの協力をいただきました。

事務局：家庭教育力がより高まってくれば、いじめの予防にもつながります。いじめの専門委員会での話ですが、不登校が非常に多く、また、いじめが絶えず出てくる中で、幼少期の保護者の関わりが、子どもの思春期にいじめの加害者あるいは被害者として様々な形として出てきます。親が自分の子育てを振り返るポイントとして、今後考えていく必要があると思います。

D委員：秋には、いろいろな催しが開催されましたが、中々行くことができませんでした。伊吹山テレビでは、開催されたことを放映されていますが、もう少し考えてPRをしていただけると良いと思います。
桐幕の修復に要した費用と、どのようなところに修復の依頼をされていますか。全部刺繍ですか。

事務局：今回の修復に係る費用の負担については、県と市と保存会になります。全部刺繍で、修復に要した金額は、4枚で約570万円です。県が3分の2の60%、市が20%、保存会が20%です。2か年事業で実施しており、今年は胴幕、去年は花道幕の修復を行いましたので、合わせると約1500万円になります。基本的には、文化財の修復をされている業者に依頼します。今回は彦根の業者に依頼しましたが、ほとんどは京都の業者となります。

D委員：いじめの件で、1対多数が気になったのですが、その後経過報告がありましたら教えていただけませんか。

事務局：1対多数ということですが、中心になるのは1対3人であり、その他の子は止めるように言えずに少し関わっているといた部分ですので、保護者連絡も含めて3人を中心に指導をしており、現在は収まっていると聞いています。

A委員：日本のいじめの特徴は1対多数であり、日本人らしい独特なものです。日本は世間体の世界ですから、みんなでまとまっていた方が良いという考え方があります。また、いじめの背景の中には、大人の社会を吸収して、大人達の言葉使い、周りへの接し方や思いやりが子どもたちに反映されていることを考えなければならぬと思います。

事務局：被害者と加害者がいて、その周りの子がどのような対応をとるのかについても重要なことで、加担することは一番いけないことですが、無視することもそれを認めた形になるので、周りへどのように指導していくのかについては、早期発見し、広がらないことが、学校としては大事であり、そこはしっかりとやっていかなければならないと思います。

事務局：校長面談で校長先生へ今困っている事を聞くと、学校への批判、いじめ問題が出てきます。いじめ問題については、保護者の捉え方にも違いがあって、加害者が逆に被害者になっていることや親同士のトラブルが子どもにも影響していることが、見え隠れしていることもあります。大人の世界を見て子どもは成長しており、親が家庭の中で世間の悪口を言えば、その言葉を聞いている子どもは人の悪口をいってしまうという悪循環にも繋がるので、保護者には家庭を振り返ることをしてほしいと思います。

例年10月頃に給食試食会がありましたが、今年度はどうなっていますか。

事務局：給食試食会については、今年は行わず、11月末に給食費の改定に向けた説明会を行います。

6 議案審議

議案第50号 後援等名義使用承認（後援）について 【生涯学習課】
○Peace concert（ピースコンサート） 声楽リサイタル

原案承認

7 報告事項

(1) 米原市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について 【保育幼稚園課】

事務局：現在、市での適用はありませんが、今後市としても家庭的保育を実施できる場所を整備していこうとするものです。

事務局：保育の需要については、認定こども園の整備により整ってきていると思います。国が定める法律に基づく条例改正になりますが、保育環境を高めていくことによって、地域に根差した保育ができるものと考えられます。

A委員：米原市では、実際に適用していないということですが、具体的には、どのようなものですか。

事務局：近くでの保育や家庭的できめ細やかな保育を受けることも可能であることから、県南部の市町では多く実施されています。ほとんどは民間になりますが、公立では、近江八幡市の沖島に1か所あります。

C委員：事業を行う場合には、保育の資格は必要となるのですね。

事務局：保育の資格は必要となります。

A委員：保護者のニーズではなく、市の体制づくりになるのですか。

事務局：保護者のニーズがあれば、市としても認可していく必要があります。また、増加する待機児童を解消する対策にもなります。

事務局：高まる保育のニーズに対応するため、市としても、このような体制を整備していく時期に来ています。

A委員：資格があれば、個人宅で保育を実施することも可能になるのですね。

事務局：認可を受ければ可能となります。

事務局：企業が事業所内に保育場所を設置される場合が、本事業に該当します。

D委員：事業所であれば、保育士の人件費の補助を受けることができるのではないですか。

事務局：認可を受けると国からの補助を受けることが可能です。

(2) 夏季休業期間における幼稚園型一時預かり事業の利用状況報告について

【保育幼稚園課】

事務局：弁当を食べる子と給食を食べる子がいることから、今後給食として統一していくことについて、検討していく必要があると考えています。

事務局：給食に統一することは大変になるのですか。

事務局：大変になります。アレルギーによる個別の対応も必要になってきます。

A委員：原則は弁当ですか。

事務局：給食の注文については、受け付けています。

A委員：一時預かりについては、正規の保育事業ではないことから、本来の保育課程での対応はされないのですか。カリキュラムはあるのですか。

事務局：カリキュラムはありません。また、通常の保育課程での対応ではありません。

事務局：カリキュラム外であっても、子どもの実態に応じた保育を行うことについては、山東幼稚園、各認定こども園で考えておられると思います。

(3) 山東生涯学習センターの今後の方針について

【生涯学習課】

事務局：現在ルッチプラザにある社協の事務所では、大変狭く活動ができないという話を聞いています。また、最終的には、山東庁舎をボランティアの拠点としたいという思いはあるようです。

A委員：決定については、市議会か、定例教育委員会のどちらの議決になりますか。

事務局：12月の市議会へ条例廃止の議案を提案する予定です。

A委員：現在の利用者の方との調整はできていますか。

事務局：社協としては、新庁舎が完成すれば、山東庁舎の方へ移りたいという思いは持っておられます。山東生涯学習センターの利用については、それまでの期間になると思います。また、今後生涯学習機能については、地域ごとに集約していくという方向性から、現在利用されている方には、いずれ山東公民館、ルッチプラザに移っていただくことを前提に、説明をしていきたいと考えています。

事務局：次回11月の定例教育委員会および12月の市議会へ生涯学習センター条例の廃止について提案していく予定となります。

(4) 後援等名義使用承認（後援）について

- | | |
|---|---------|
| ○第3回ソニアホール「ありがとう」俳句コンテスト | 【教育総務課】 |
| ○平成30年度文化庁「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」
滋賀県次世代創造発信事業 芝居小屋「長栄座」公演 | 【生涯学習課】 |
| ○第46回近江大菊花展 | 【生涯学習課】 |
| ○第19回湖北母親大会 | 【生涯学習課】 |
| ○チャレンジカップ IN MAIBARA | 【生涯学習課】 |
| ○2018子育てと教育を語るつどい | 【学校教育課】 |

8 質疑応答

9 その他

(1) 平成30年第11回定例教育委員会の開催について

日 時：平成30年11月15日（木）午後3時30分から
場 所：ルッチプラザ 2階 研修室

(2) 平成30年第12回定例教育委員会の開催について

日 時：平成30年12月20日（木）午後3時30分から

場 所：ルッチプラザ 2階 研修室

(3) 平成 30 年度滋賀県都市教育委員会連絡協議会県外研修の開催について

内 容：平成 30 年度市町村教育委員会研究協議会（第 2 ブロック）

研修日：平成 30 年 11 月 21 日（水）、22 日（木）

場 所：全体会会場 大阪府大阪市 大阪中央公会堂

分科会会場 〃 大阪市 大阪中央公会堂ほか

10 閉 会

以上をもって第 10 回定例教育委員会を午後 5 時 10 分に終了した。